

2021年6月28日
福岡東南ロータリークラブ

人工呼吸器の寄贈 —— コロナ禍と闘うネパールの友人たちを支援

福岡東南ロータリークラブは、ネパールの首都カトマンズで活動するマディアプール・ロータリークラブと連携して、ネパールの新型コロナウイルス対策を支援するため、現地の病院に人工呼吸器3器及び周辺機器を寄贈しました。

かねて交流のあった両クラブは、現場からの要請に応えるため、福岡東南ロータリークラブや現地市役所からの拠出金、ネパール側3292地区財団活動資金及び国際財団活動資金からなる総額4万ドル(約416万円)のグローバル補助金事業を組成し、本事業を実施することとなりました。

2021年1月19日に寄贈式が開催され、ネパール側からは、マディアプール・シミ市マダン・スンドル・シュレスタ市長、マディアプール・ロータリークラブ ジャガット・クリシュナ・プラジャパティ会長ほかが出席し、日本側からもリモートで福岡東南ロータリークラブ長谷川裕一会長が参加しました。長谷川会長は「両国は遠く離れているが、新型コロナウイルスという共通の禍に打ち勝つべく、心を一つにして共に闘いましょう」と述べました。マディアプール・シミ市長からはロータリーの活動と福岡からの支援に対して深い謝意が表明されました。

両クラブはこの他にも、ネパールの子供たちの就学継続支援や困窮コミュニティの生活支援を実施するとともに、福岡北ロータリークラブとも連携し、2700地区補助金も得て現地病院に高圧滅菌器を寄贈する活動も行っています。

